



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タカチホ
コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,015	9.3	439	33.4	440	34.4	423	△8.0
2023年3月期	7,334	39.8	329	—	327	—	460	—

(注) 包括利益 2024年3月期 433百万円 (△6.6%) 2023年3月期 463百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	660.62	—	26.5	10.5	5.5
2023年3月期	723.54	—	40.3	8.4	4.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,263	1,820	42.7	2,832.71
2023年3月期	4,166	1,374	33.0	2,160.16

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,820百万円 2023年3月期 1,374百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	333	△36	△365	834
2023年3月期	392	△44	△178	902

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	0.0	0.0
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	25	6.1	1.6
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		10.2	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	2.3	450	2.5	447	1.5	315	△25.6	490.18

（注）当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	727,500株	2023年3月期	727,500株
2024年3月期	84,876株	2023年3月期	91,370株
2024年3月期	640,705株	2023年3月期	636,131株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,395	9.4	438	28.5	442	28.5	428	△6.8
2023年3月期	6,757	42.1	340	—	344	—	459	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	668.36	—
2023年3月期	721.99	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,360	1,845	42.3	2,872.34
2023年3月期	4,157	1,394	33.5	2,192.39

（参考）自己資本 2024年3月期 1,845百万円 2023年3月期 1,394百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する重要事象等)	14
(会計方針の変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
4. その他	20
(1) 役員の変動	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動が正常化したことから、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。

国内においては、個人消費やインバウンド需要などの内需が幅広い分野で回復し、昨年度の全国旅行支援によるクーポン効果が剥落した影響はあったものの、観光・レジャー需要も回復が継続しました。一方で、資源価格や原材料価格高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの低下、観光事業における慢性的な労働力不足等、依然として先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,015百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は439百万円（前年同期比33.4%増）、経常利益は440百万円（前年同期比34.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は423百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光・レジャー需要の回復が継続する中で、新商品開発や販売を強化したことで受注も増加し、売上高は6,064百万円（前年同期比18.6%増）となり、営業利益は547百万円（前年同期比55.8%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光・レジャー需要は回復が継続したことにより販売が増加したものの、前年に開催された長野市における善光寺御開帳効果や全国旅行支援によるクーポン効果が剥落し、売上高は848百万円（前年同期比4.8%減）となり、営業利益は32百万円（前年同期比58.1%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光・レジャー需要は回復が継続する中で、新商品開発や販売を強化したことで受注も増加し、売上高は158百万円（前年同期比20.0%増）となり、営業利益は25百万円（前年同期は16百万円の営業損失）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、前年度に価格改定を行い資源価格の上昇による運営費増加を吸収したことに加え、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により飲食利用も回復したことで、売上高は307百万円（前年同期比11.5%増）となり、営業利益は57百万円（前年同期比92.3%増）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。このうち自社運営していた飲食店舗を賃貸に変更したこと等により、賃料収入は148百万円（前年同期比18.2%増）となり、営業利益は53百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景として増加したアウトドアユーザーの需要が一巡したほか、競合店の進出等の影響により、売上高は436百万円（前年同期比21.1%減）となり、営業損益は15百万円の営業損失（前年同期は33百万円の営業利益）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、飲食店の運営が含まれます。保険代理店及びギフト店等のノンコア事業の見直しを進めた結果、売上高は51百万円（前年同期比78.8%減）となり、営業利益は3百万円（前年同期比88.8%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、売掛金の増加等により、4,263百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金834百万円、売掛金655百万円、商品及び製品430百万円であります。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産1,548百万円、投資その他の資産506百万円であります。

流動負債の主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金327百万円、支払手形及び買掛金395百万円であります。

固定負債の主な内訳は、長期借入金976百万円、長期預り保証金205百万円であります。

純資産の主な内訳は、資本金1,000百万円及び資本剰余金701百万円、利益剰余金270百万円及び自己株式△166

百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は834百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、333百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益427百万円、法人税等の支払100百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、36百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、365百万円となりました。これは主に有利子負債の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
自己資本比率 (%)	47.3	27.5	24.9	33.0	42.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	17.7	21.3	23.3	25.7	37.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.9	—	—	4.3	3.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	34.0	—	—	36.1	37.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動が正常化したことから、景気は緩やかな回復傾向が継続しつつも資源価格や原材料価格高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの低下、観光事業における慢性的な労働力不足など、先行きの予測は難しい状況にありますが、当社グループでは「企業価値の向上 企業価値を意識した業務推進」を年度スローガンとして新たな価値創造・業務効率化と生産性の向上・意識改革・業務改善を実行し組織体制の強化を図ります。

当社グループはレジャー産業を基軸とした総合商社として、戦略的な顧客管理と戦略商品の企画開発による市場シェアの拡大を図るとともに、安定顧客の維持及び新規顧客・店舗の開拓と発掘を実践するため成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めます。

営業施策といたしましては、観光みやげ品事業での新規業務による更なる収益拡大を目指すとともに、有望市場への新規開拓を推進し、新規顧客開拓、新規出店戦略による売上確保を進めます。

また、販売・サービス部門におきましては地域一番店を目指し、地域ユーザーに密着したイベントの情報発信・開催等を行い、接客・サービスの向上による安定顧客の維持及び新規客層の発掘を行います。

翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高8,200百万円、営業利益450百万円、経常利益447百万円、親会社株主に帰属する当期純利益315百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつとして位置付け、収益力の向上並びに財務体質の強化を通じ、連結配当性向30%を目指し安定的かつ着実な配当の実施を基本方針としております。

当期末の配当金につきましては、市場の回復動向等による業績予想に基づき当初無配としておりましたが、予

想を上回ったことに伴い、期末配当予想を1株当たり40円として復配させていただきます。

次期(2025年3月期)の配当金につきましては、当社の利益配分に関する基本方針、財政状況及び通期業績見通し等を勘案し、1株につき期末配当金50円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,524	834,674
受取手形	34,152	41,442
売掛金	616,866	655,683
商品及び製品	391,593	430,731
原材料及び貯蔵品	41,100	43,113
その他	30,442	33,377
貸倒引当金	△1,056	△1,249
流動資産合計	2,026,622	2,037,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,075,096	3,089,195
減価償却累計額	△2,477,029	△2,521,144
建物及び構築物 (純額)	598,066	568,051
機械装置及び運搬具	289,328	297,420
減価償却累計額	△249,956	△258,680
機械装置及び運搬具 (純額)	39,372	38,740
工具、器具及び備品	236,721	234,167
減価償却累計額	△190,512	△195,067
工具、器具及び備品 (純額)	46,209	39,100
土地	902,820	902,820
有形固定資産合計	1,586,469	1,548,712
無形固定資産		
ソフトウェア	12,188	10,975
ソフトウェア仮勘定	—	58,966
その他	99,943	99,943
無形固定資産合計	112,131	169,885
投資その他の資産		
投資有価証券	49,075	45,543
敷金及び保証金	116,349	113,386
繰延税金資産	234,349	295,147
その他	53,232	62,716
貸倒引当金	△11,518	△10,018
投資その他の資産合計	441,488	506,775
固定資産合計	2,140,090	2,225,372
資産合計	4,166,713	4,263,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,370	395,168
1年内返済予定の長期借入金	356,397	327,116
未払法人税等	78,896	46,383
未払金	49,960	120,561
未払費用	58,435	69,046
賞与引当金	45,963	51,629
契約負債	13,632	13,308
その他	148,134	127,763
流動負債合計	1,156,790	1,150,978
固定負債		
長期借入金	1,312,505	976,912
資産除去債務	94,807	96,162
長期預り保証金	214,820	205,076
その他	13,650	13,650
固定負債合計	1,635,782	1,291,801
負債合計	2,792,573	2,442,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	701,711	701,882
利益剰余金	△152,711	270,550
自己株式	△179,140	△166,409
株主資本合計	1,369,858	1,806,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,281	14,343
その他の包括利益累計額合計	4,281	14,343
純資産合計	1,374,140	1,820,367
負債純資産合計	4,166,713	4,263,147

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,334,334	8,015,726
売上原価	5,254,078	5,780,070
売上総利益	2,080,255	2,235,656
販売費及び一般管理費		
販売手数料	115,363	131,882
荷造運搬費	81,600	56,879
貸倒引当金繰入額	△1,266	192
広告宣伝費	25,108	26,687
役員報酬	57,162	76,300
給与賞与	684,595	690,237
賞与引当金繰入額	42,761	47,706
株式報酬費用	—	11,674
退職給付費用	17,200	16,510
福利厚生費	119,141	126,857
賃借料	202,491	199,211
修繕費	19,313	25,745
消耗品費	75,698	62,771
水道光熱費	48,882	46,966
旅費及び交通費	20,072	28,484
租税公課	40,043	39,439
減価償却費	44,365	35,641
その他	158,544	173,220
販売費及び一般管理費合計	1,751,079	1,796,409
営業利益	329,176	439,247
営業外収益		
受取利息	32	53
受取配当金	644	702
受取事務手数料	1,276	1,056
受取手数料	6,099	5,235
その他	3,165	4,007
営業外収益合計	11,217	11,054
営業外費用		
支払利息	10,851	8,969
その他	1,831	821
営業外費用合計	12,682	9,790
経常利益	327,710	440,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
事業譲渡益	2,750	—
助成金収入	47,026	231
特別利益合計	49,776	231
特別損失		
固定資産除却損	405	85
減損損失	—	9,796
関係会社清算損	—	1,041
会員権評価損	—	2,000
特別損失合計	405	12,923
税金等調整前当期純利益	377,081	427,819
法人税、住民税及び事業税	68,015	69,759
法人税等調整額	△151,199	△65,203
法人税等合計	△83,184	4,556
当期純利益	460,265	423,262
親会社株主に帰属する当期純利益	460,265	423,262

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	460,265	423,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,698	10,062
その他の包括利益	3,698	10,062
包括利益	463,964	433,325
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	463,964	433,325

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	701,711	△612,977	△179,114	909,619
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			460,265		460,265
自己株式の取得				△26	△26
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	460,265	△26	460,239
当期末残高	1,000,000	701,711	△152,711	△179,140	1,369,858

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	582	582	910,201
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			460,265
自己株式の取得			△26
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,698	3,698	3,698
当期変動額合計	3,698	3,698	463,938
当期末残高	4,281	4,281	1,374,140

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	701,711	△152,711	△179,140	1,369,858
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			423,262		423,262
自己株式の取得				△168	△168
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
その他		171		12,899	13,070
当期変動額合計	—	171	423,262	12,731	436,164
当期末残高	1,000,000	701,882	270,550	△166,409	1,806,023

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,281	4,281	1,374,140
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			423,262
自己株式の取得			△168
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,062	10,062	10,062
その他			13,070
当期変動額合計	10,062	10,062	446,227
当期末残高	14,343	14,343	1,820,367

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	377,081	427,819
減価償却費	93,712	85,016
減損損失	—	9,796
固定資産除却損	405	85
子会社清算損益 (△は益)	—	1,041
会員権評価損	—	2,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,266	△1,307
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,828	5,666
契約負債の増減額 (△は減少)	△366	△323
受取利息及び受取配当金	△676	△755
支払利息	10,851	8,969
助成金収入	△47,026	△231
売上債権の増減額 (△は増加)	△236,546	△46,107
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,764	△41,151
営業保証金の増減額 (△は減少)	—	4,100
仕入債務の増減額 (△は減少)	142,336	△10,202
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,406	△24,688
前受金の増減額 (△は減少)	△9,978	△2,248
その他の資産の増減額 (△は増加)	10,418	△3,640
その他の負債の増減額 (△は減少)	3,909	14,129
事業譲渡益	△2,750	—
その他	1,708	13,511
小計	364,283	441,479
利息及び配当金の受取額	653	723
利息の支払額	△10,936	△8,899
法人税等の支払額	△9,983	△100,107
法人税等の還付額	1,049	—
助成金の受取額	47,026	231
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,092	333,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△34,682	△47,350
有形固定資産の売却による収入	—	—
無形固定資産の取得による支出	△4,140	△6,044
子会社の清算による収入	—	7,894
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,613
敷金及び保証金の回収による収入	1,045	—
事業譲渡による収入	2,750	—
その他	30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,997	△36,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,250,000	1,950,000
短期借入金の返済による支出	△2,750,000	△1,950,000
長期借入れによる収入	902,013	2,288
長期借入金の返済による支出	△579,900	△367,162
自己株式の取得による支出	△26	△168
配当金の支払額	△249	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,163	△365,163
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168,932	△67,849
現金及び現金同等物の期首残高	733,592	902,524
現金及び現金同等物の期末残高	902,524	834,674

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第4四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「みやげ卸売事業」、「みやげ小売事業」、「みやげ製造事業」、「温浴施設事業」、「不動産賃貸事業」、「アウトドア用品事業」の6つを報告セグメントとしております。

「みやげ卸売事業」は、ホテル等宿泊施設の他、J R 駅・高速 S A のみやげ販売店等に卸売を行っており、「みやげ小売事業」は、観光地等の当社の直営店にてみやげ品の販売を行っております。

「みやげ製造事業」は、みやげ用食品の製造を行っております。

「温浴施設事業」は、長野市でスーパー銭湯の施設を運営しており、「不動産賃貸事業」は、長野市で商業施設を運営しております。

「アウトドア用品事業」は、長野県下の3ヶ所の直営店にてアウトドア用品の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	5,114,396	891,515	131,721	276,160	—	552,520	6,966,315	242,179	7,208,494	—	7,208,494
その他の収益	—	—	—	—	125,839	—	125,839	—	125,839	—	125,839
外部顧客への 売上高	5,114,396	891,515	131,721	276,160	125,839	552,520	7,092,155	242,179	7,334,334	—	7,334,334
セグメント間の 内部売上高又は 振高	70,768	—	197,344	—	29,205	—	297,317	174,694	472,011	△472,011	—
計	5,185,165	891,515	329,066	276,160	155,044	552,520	7,389,473	416,873	7,806,346	△472,011	7,334,334
セグメント利益又 は損失 (△)	351,559	77,262	△16,156	29,851	44,589	33,553	520,659	29,222	549,881	△220,705	329,176
セグメント資産	1,208,782	113,003	149,085	90,122	684,007	243,483	2,488,485	153,506	2,641,991	1,524,721	4,166,713
その他の項目											
減価償却費	16,275	3,195	14,000	9,164	26,013	2,017	70,667	683	71,351	22,361	93,712
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	3,994	—	1,191	12,046	2,974	8,054	28,260	—	28,260	9,538	37,798

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下の通りであります。
- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△220,705千円は、セグメント間取引消去額4,438千円及び各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△225,143千円であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,524,721千円は、セグメント間取引消去額△9,646千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,534,368千円であります。
 - (3) 減価償却費の調整額22,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9,538千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	6,064,913	848,488	158,004	307,962	—	436,191	7,815,560	51,448	7,867,008	—	7,867,008
その他の収益	—	—	—	—	148,717	—	148,717	—	148,717	—	148,717
外部顧客への 売上高	6,064,913	848,488	158,004	307,962	148,717	436,191	7,964,278	51,448	8,015,726	—	8,015,726
セグメント間の 内部売上高又は 振高	64,967	—	227,158	—	28,800	—	320,925	163,618	484,543	△484,543	—
計	6,129,880	848,488	385,162	307,962	177,517	436,191	8,285,203	215,066	8,500,270	△484,543	8,015,726
セグメント利益又 は損失 (△)	547,860	32,364	25,816	57,410	53,433	△15,802	701,083	3,260	704,344	△265,096	439,247
セグメント資産	1,158,010	130,758	134,924	93,719	669,345	230,195	2,416,954	147,654	2,564,608	1,698,538	4,263,147
その他の項目											
減価償却費	7,778	3,160	13,930	9,977	26,350	2,799	63,996	309	64,306	20,710	85,016
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	8,308	5,370	9,438	6,050	10,700	7,823	47,691	767	48,458	7,470	55,928

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△265,096千円は、セグメント間取引消去額2,123千円及び各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△267,220千円であります。

(2) セグメント資産の調整額1,698,538千円は、セグメント間取引消去額△9,975千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,708,514千円であります。

(3) 減価償却費の調整額20,710千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,470千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	みやげ卸 売事業	みやげ小売 事業	みやげ製造 事業	温泉施設事業	不動産賃貸 事業	アウトドア 用品事業	計	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	-	-	-	-	-	9,796	9,796	-	9,796	-	9,796

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,160.16円	2,832.71円
1株当たり当期純利益	723.54円	660.62円

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	460,265	423,262
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	460,265	423,262
期中平均株式数(千株)	636	640

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

・新任監査役候補

(非常勤) 監査役 宮澤 幸彦

(注) 宮澤幸彦は、社外監査役の候補者であります。

・退任予定監査役

(非常勤) 監査役 目黒 匡